

1 月度 <第 27 回>

会長の時間

平成 26 年 1 月 30 日

【ロータリー理解推進月間】

本日は、今週の月曜日（1/27）、ロータリーの創設者ポール・ハリスの命日にあたりますので、遺徳を偲びポール・ハリスの話をさせていただきます。

生涯をロータリーの発展に捧げたポール・ハリスは、1947 年（昭和 22 年）1 月 27 日（月曜日）78 歳で逝去され、今年で没後 67 年目にあたります。現在でも、シカゴ市マウント・ホープ墓地に眠り、当時の執務室は、世界本部に、そのまま保存されているそうです。

ポール・ハリスは、終生にわたり、法律事務所の仕事を熱心に続ける傍ら多くの公職もあり、全米身体障害児童及び成人協会並びに身体障害児童国際協会初代会長、シカゴ弁護士協会理事、アメリカ弁護士協会の委員などなど歴任しました。

更にハリスの功績を称えボーイスカウトのバッハアロー銀賞、フランスからレジョン・ドヌール勲章、なかでも、アメリカ最高のシカゴ市善行賞、外国からはブラジル、チリ、ドミニカ共和国、エクアドル、ペルーなどから荣誉ある勲章を授与されている。

また、妻のジェーン夫人は、スコットランドの信仰深いトムソン家の 8 人兄弟の 5 番目で、女としては 2 番目で、すばらしく魅力的な女性だったと言われ、37 年間ハリスに連れ添い、ロータリーの発展に努め、ハリスの世界中のロータリー講演旅行に同行し、何度かハリスに代わって講演もしていた。ジェーン夫人は、ハリスの死後間もなく、その家売りスコットランドに帰り、1963 年（昭和 38 年）11 月 9 日 82 歳で逝去しています。

ハリスとは、海を隔てて何千キロも離れたエジンバラ市のニューイントン墓地に先祖とともに眠っています。その墓石には、「常に渝らぬ信仰と豊かな慈愛の心をもった婦人」と刻んであるそうです。

残念ながら、二人は、子供に恵まれず、ハリスの自叙伝には「子供がいない私たち夫婦は国際ロータリーを養子にしました」と書いています。

そして、P・ハリスは、世界は常に変化している。…と前置きし、「ロータリーは、この世界と共に変化して成長していかなければならない。」…と、言い。

「ロータリーの物語は、幾度も書きかえられなければならない。」…とも言っておられます。

本年度、RI ロン D・バートン会長は、ロータリーの友 12 月号で、ポール・ハ

リスの家と題し、ハリスの精神をたたえ、一緒に家を保存しようとしています。

その家は、2005年にポール・アンド・ジーン・ハリス・ホーム財団が買い戻すまでに2回以上所有者が変わり、同財団の活動を通じて、また、シカゴやロータリークラブの支援を得て、そのハリス夫妻の家は、解体を免れ、今、親睦と奉仕の精神で集うロータリアンの為の場所として、この家を後世に引き継げるかどうか…と、問いかけています。

RI理事会では、ロータリーの歴史ともいえる、このかけがえのない建物の修復を支援するために、ポール・アンド・ジーン・ハリス・ホーム財団に50万ドルを貸し付けることを決定し、この建物を博物館や歴史的建造物として運営する資金として、プロジェクトに500万ドル（約5億円）の目標を定め、全世界のロータリアンに寄付を呼びかけています。

なお、RIでは、金額の額に関わらず寄付を歓迎します。また、多額の寄付をしてくださった方には、家屋や庭園の中に名前を記載することもできますので、ご賛同いただける方は積極的にアクセスされ、ご寄付をお願い申し上げます。本日は、ロータリー創設者ポール・ハリスの命日が1/27でしたので、これらに関するお話をさせて頂きました。

それでは、本日も素晴らしいロータリーライフと夜間例会をお楽しみ下さいます様お祈りしまして会長の挨拶とさせて頂きます。